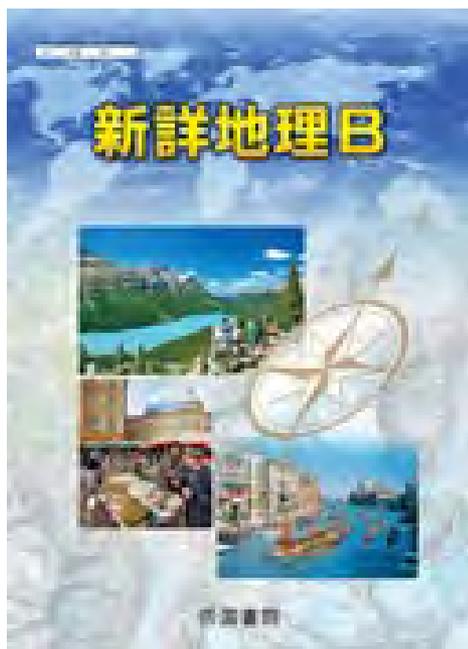


新必修科目「地理総合」って、どんな科目？

奈良大学 地理学科 教授

木村圭司

kimurak@daibutsu.nara-u.ac.jp



2020年11月16日（月）14:00～
全通研第4回学習書研修会
Zoomにて

目次

1 はじめに

自己紹介

話題提供の概要

2 地理総合の目標と内容

学習指導要領の変遷と地理教育の歴史

新学習指導要領とその背景

地理総合の目標と内容

3 小5，中1，高校の地理の比較

大単元の構成と比較

現行の高校教科書の例

4 地理教育の3つの要素

地理的技能に関する不安要素の検討

5 通信教育でのアシスト、学習書に向けて

学習書でどこまで教えるか

6 まとめ

無理難題を置いていく？

1. はじめに・・・自己紹介



カザフスタン、チャリンキャニオンにて
(2018)

• 大阪府出身

- 学歴：東京大学理学部地学科地理学専攻卒業
東京大学大学院理学系研究科地理学専攻
修士課程修了、博士課程単位取得満期退学

• 博士（理学）、専門地域調査士

- 職歴（常勤）：奈良女子大学文学部助手、愛知県立大学情報科学部助手、
東京都立大学大学院理学研究科助教授、
北海道大学大学院情報科学研究科助教授・准教授
- 職歴（非常勤）：スイス連邦チューリッヒ工科大学客員教授、
早稲田大学非常勤講師、金沢大学非常勤講師など

• 現在、奈良大学 文学部 地理学科 教授

- 東京大学 空間情報科学センター 客員教授（拠点）
- 静岡大学 防災総合センター 客員教授
- 大阪教育大学 非常勤講師

• 気候学、地理学、GIS、リモートセンシングが専門

概要

高等学校の地理歴史科で「**地理総合**」が必修化。
新しい学習指導要領の「**地理総合**」を概観。



- 教科書の実際について考える
- 通信教育でのアシスト方法を考える
 - ・・・可能か不可能かを検討
- ここまでは知っておいてほしい！という内容
逆に、これは難しい！という内容も。

2. 地理総合の目標と内容

高等学校「社会科」「地理歴史科」の学習指導要領の“歴史”

各時代の学習指導要領で、

1963年から、日本史、世界史、**地理**の3科目が**必修**

ただし各科目はAとBに分かれている。例外あり。

1973年から、倫社と政経が必修、

日本史、世界史、地理AorBから2科目履修

1982年から、現代社会が必修、

日本史、世界史、地理、倫社、政経から選択

1994年から、**世界史**AorBのいずれかが**必修**、

日本史AorB、地理AorBの1科目が必修

公民または（倫社and政経）が必修

2003年からは、1994年要領を継続。

2022年から、**地理総合**、**歴史総合**が**必修**。

50年ぶりに
必修化

2. 地理総合の目標と内容

高等学校「地理歴史科」の新学習指導要領

- 経緯（平成30年改定 学習指導要領／解説）

2018年3月 **学習指導要領** 公表

2018年7月 **学習指導要領解説** 公表

- 実施

2022年度から（年次進行で）実施

- 地理関連では、

「**地理総合**」必修2単位 に加えて

「地理探究」選択3単位 も新設される。

参考：現行の地理Aは2単位、地理Bは4単位（ただし別々）

地理総合→地理探求ととると、5単位になる。

背景

- 自然災害の頻発
- 環境問題
- グローバル化
- 地理情報の普及
- 領土問題
- 国家の意識

◆「地理総合」の目標

「何を学ぶか」

「どのように学ぶか」

「何ができるようになるか」

A 地図や地理情報システムで捉える現代世界

B 国際理解と国際協力

C 持続可能な地域づくりと私たち

課題を追究したり解決したりする活動

活用

「広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に生きる平和で民主的な国家及び社会の有意な形成者に必要な公民としての資質・能力」を身に付けることができる。

「地理総合」で育成すべき資質・能力

リンク

地理的な見方・考え方

深化

「地理総合」の内容

□ 三つのテーマによる内容構成

地図・
GIS

A 地図や地理情報システムで捉える現代世界
(1) 地図や地理情報システムと現代世界

ESD

B 国際理解と国際協力

(1) 生活文化の多様性と国際理解

(2) 地球的課題と国際協力

SDGsとの関連づけ

防災

+

ESD

C 持続可能な地域づくりと私たち

(1) 自然環境と防災

(2) 生活圏の調査と地域の展望

ESD (Education for Sustainable Development)

「持続可能な開発のための教育」



連する様々な分野を
“持続可能な社会の構築”の
観点からつなげ、総合的に
取り組むことが必要

「持続可能な開発目標(SDGs)」

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



2015年9月25日、ニューヨーク・国連本部で開催された国連サミットで、「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択。

3. 小5, 中1, 高校の地理の比較

小学5年生の社会科 地理学分野を初めて習う

目次

I. 国土の地理的環境の特色

1. 日本の国土と世界の国々
2. 国土の気候と地形の特色
3. 自然条件と人々の暮らし

II. 日本の産業の現状

1. 稲作、水産業、その他の農牧業
2. 工業
3. 情報、情報通信技術

III. 環境・防災

1. 自然災害
2. 森林
3. 環境・公害

中学1年生の社会科 地理的視野を広げる

目次

I. 世界と日本の地域構成

1. 地球儀

II. 世界のさまざまな地域

1. 人々の環境と生活
暑・乾・暖・寒・高
2. 世界の諸地域
州ごとの地誌

III. 日本のさまざまな地域

1. 日本の地域的特色
2. 日本の諸地域
地方ごとの地誌

IV. 地域のあり方

1. 身近な地域の調査と発表
2. 防災、環境、SDG s

3. 小5, 中1, 高校の地理の比較

高校の地理総合

目次

- I. 地図でとらえる現代社会
 - 1. 地図と地理情報システム
 - 2. 現代世界の結びつき

- II. 国際理解と国際協力
 - ※世界地誌ではない
 - 1. 国際理解・生活文化
 - 2. 国際協力・地球的課題

- III. 持続可能な地域づくり
 - 1. 自然環境・防災
 - 2. 地域調査と発表

高校の地理探求

目次

- I. 系統地理
 - 1. 自然環境
 - 2. 資源・産業
 - 3. 交通・通信、観光
 - 4. 人口、都市・村落
 - 5. 生活文化、民族・宗教

- II. 地誌
 - 1. 現代世界の地域区分
 - 2. 現代世界の諸地域
 - ※州単位でないこと

- III. これからの日本の国土像
 - 1. 持続可能な国土像

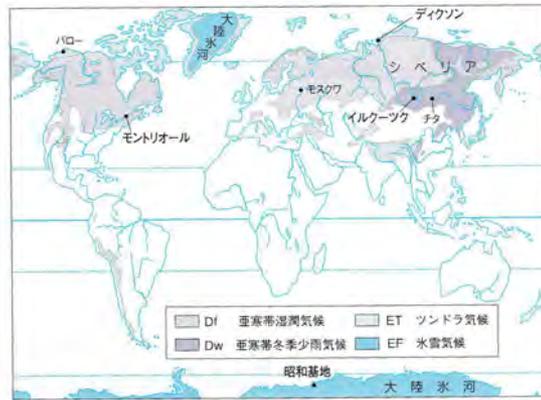
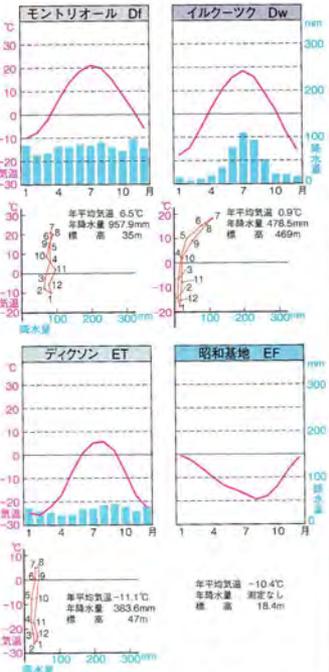
地理総合は必修で全員が学んでいるため、重ならないように。

高校教科書を例に

- これはある（現行の）教科書の1ページです。
- まず、どの部分に目が行きましたか？



▲①冬の魚市場（ロシア、ヤクーツク、2008年撮影）ヤクーツクの冬は、空気中の水蒸気が急激に冷やされ、小さな氷片となって降る音が「ちりちり」と聞こえることがあるほど寒さがきびしい。魚も凍った「かたまり」として扱われており、戸外は天然の冷凍庫となっている。



▲②亜寒帯・寒帯の気温と降水量（理科年表平成24年）**読図** 雨温図からわかる各気候区の特徴は何だろうか。ハイサーグラフの形にも着目しよう。

▲③亜寒帯・寒帯の分布（ケッペン原因、ガイガーほか修正、ほか）**読図** Dwはどのように分布しているだろうか。

リード 図②・③から亜寒帯・寒帯の分布と気温・降水量の特徴をとらえ、この環境のもとでどのような生活が営まれているのかをみていこう。

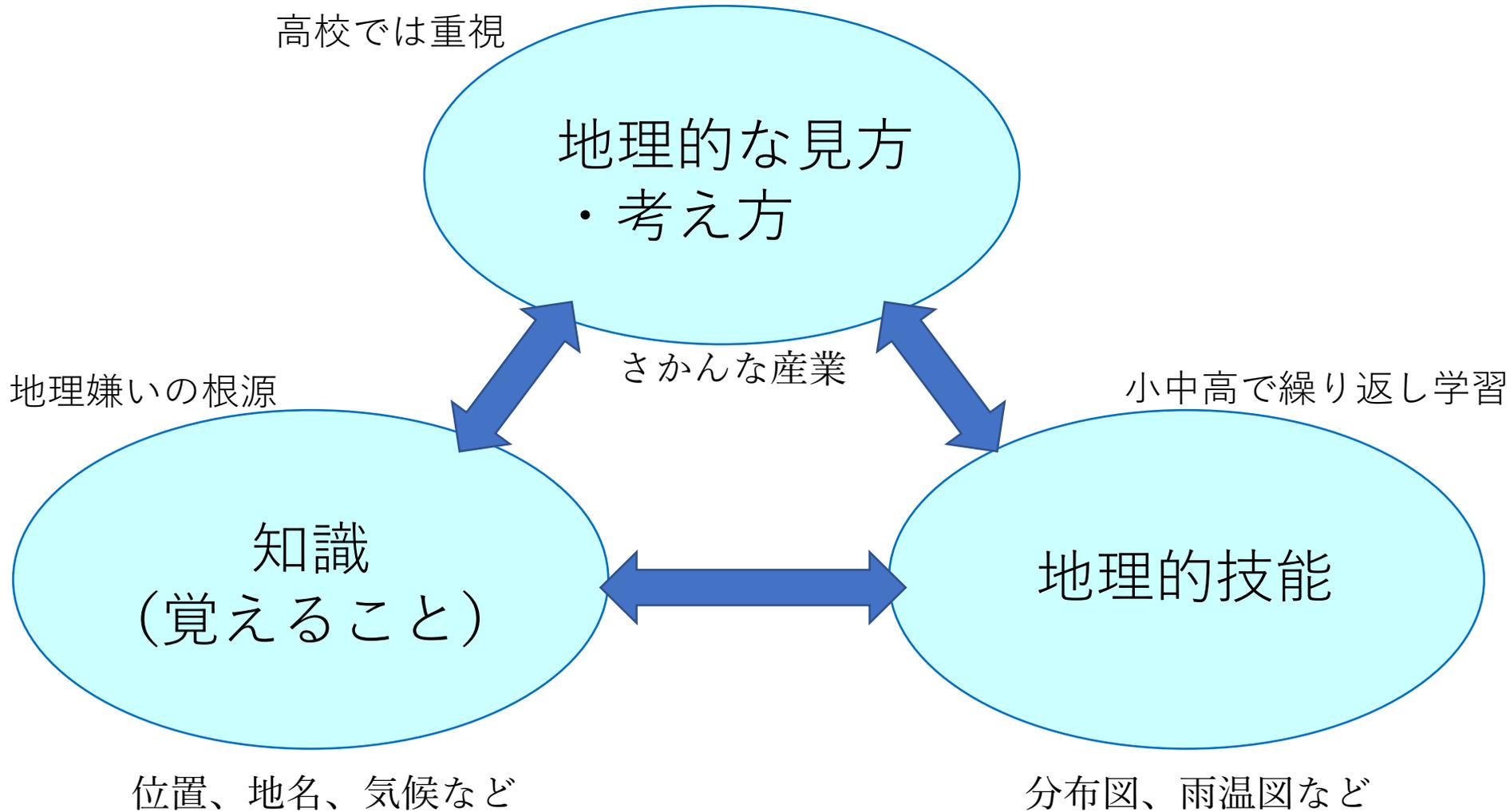
(5) 亜寒帯・寒帯の自然と生活

冬が長い亜寒帯(冷帯)(D) 亜寒帯は、樹木が育つ気候のうち、最も寒冷的な地域であり、北半球のみに分布する。冬に降り積もった雪は根雪となる。長い冬はたいへん寒いが、短い夏は暑くなるため、気温の年較差は大きい。最終氷期に大陸氷河がなかった地域には、一年中土壌が凍結している**永久凍土**がある。低温で蒸発量が少ないため、降水量の少ない内陸でも比較的**湿潤**である。夏には凍土層の表面から数mだけがとけて**湿地**となる。寒さに強い単一または少数の樹種からなる針葉樹林(**タイガ**)や、シラカバなどの落葉広葉樹林がみられる。低温で未分解の落ち葉は土壌の表層で**酸性の泥炭**となり、酸性の地下水が土を褐色にしている鉄分をとがして流し出すため、残された土壌は白っぽい**ポドゾル**となる。

用語解説
タイガ もとはロシア語で、シベリアに広がる針葉樹林だけをさしていた。現在では、ユーラシア大陸および北アメリカ大陸の亜寒帯(冷帯)にある針葉樹林をさすことも多い。

タイトル→写真
 地理の先生の視点
 タイトル→文字（本文）
 歴史の先生の視点

4. 地理教育の3つの要素



参考：学力の三要素：①知識・技能、②思考力・判断力・表現力、③主体性・態度

地理的技能

- ① 地図帳の利用
- ② 統計資料の利用
- ③ 地球儀の利用、時差
- ④ 写真の読み取り
- ⑤ グラフの読み取り
- ⑥ 地形図 1 (縮尺、地図記号)
- ⑦ 地形図 2 (等高線、土地利用)
- ⑧ 地形図 3 (新旧地形図の比較)
- ⑨ 主題図の読み取り
- ⑩ 雨温図
- ⑪ 人口ピラミッド
- ⑫ ハザードマップの読み取り
- ⑬ 現地調査、聞き取り調査
- ⑭ まとめ方、ポスター作成
- ⑮ 空中写真
- ⑯ GISの利用

赤文字は、小中高の
すべてで教える事項
黒文字は、中高で
教える事項
青文字は、高校のみで
教える事項

不安要素：すべて地理的技能

- ① 主題図の読み取り
- ② (景観) 写真の読み取り
- ③ GISの教え方
- ④ 防災・ハザードマップの教え方
- ⑤ 地域調査の教え方
- ⑥ 地形図の読み取り、空中写真の活用